

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	八木駅自由通路線 安全で安心に暮らせるまちづくり												
計画の期間	平成31年度 ~ 令和02年度 (2年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	南丹市												
計画の目標	本都市施設は、JR八木駅東口駅前広場と八木駅西土地区画整理事業により整備予定である「西口駅前広場」のアクセス向上を図る自由道路である。JR八木駅周辺は公共施設が集中し、併せて商店街や住宅地が形成されており、策定中の立地適正化計画の居住誘導区域・都市機能誘導区域の対象エリアに含まれている。本自由道路を整備することで駅へのアクセス強化により利便性の向上を図り、定住促進及び地域振興の強化を目指す。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	872	A	872	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H32末)
1	自由通路を整備し、駅へのアクセス強化により駅の利用者も増加させる。 八木駅利用者数の増加	3000人	3000人	3200人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H31	R02	R03	R04	R05				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	A13-001	都市交通	一般	南丹市	直接	南丹市	-	-	都市・地域交通戦略推進 事業(八木駅地区)	自由通路(L=73.56m W=3.0 m)	南丹市						872	1.10(1.1 1)	-	
												小計						872		
												合計							872	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 事業担当課による評価。	事後評価の実施時期 令和4年4月
	公表の方法 市ホームページによる公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	駅利用者数の増については、鉄道事業者の統計値（乗降客数）で確認することとしているためリアルタイムの数値をつかめていないが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う社会生活の変化により、鉄道利用者が大幅に減少していることから、目標指標の数値には届いていない。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	都市計画通路（八木駅自由通路線総延長約110メートル）の内、約71%（約73.5メートル）が当該事業により完成し、また、同時期に関連他事業により整備した残りの約29%（約31.5メートル）と併せて全面供用開始を行い、当初の目的である「駅へのアクセス強化」は達成できた。
特記事項（今後の方針等）	
昨今の人口減少や新型コロナウイルス感染症の拡大等により、鉄道利用者が減少している社会情勢を考慮すると、定量的指標である駅利用者数（乗降客数）の増加（3000人/日から3200人/日への増）は短期間で達成できない状況である。しかしながら、当初の目的である「駅へのアクセス強化による利便性の向上」は、当該事業による自由通路の完成で達成できたと判断する。	

